

東京保険医協会

「予防接種・子ども医療費助成制度 データ」

2023年9月

## ■ 2023年度 都内の区市町村における予防接種助成状況

凡例

1. 対象者、助成額に関わらず自治体として助成を行っているものを「●」と表記した。
2. 昨年度から変更があった部分を赤色で示した。

### 【 区部 】

区市町村	BCG			おたふく	季節性 インフル エンザ	麻しん・風しん (未接種者向け)		帯状疱疹 ※2	里帰り先での予 防接種への償還 払い
	個別	集団	相互乗入			第1期 (1歳児)	第2期 (小学校入学前年)		
1 千代田区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
2 中央区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
3 港区	●	—	● ※1	×	●	●	●	●	●
4 新宿区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
5 文京区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
6 台東区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
7 墨田区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●	●
8 江東区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●	●
9 品川区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
10 目黒区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
11 大田区	●	—	● ※1	×	●	●	●	●	●
12 世田谷区	●	—	● ※1 +調布市,三鷹市,狛江市	×	●	●	●	●	●
13 渋谷区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
14 中野区 ※3	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
15 杉並区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
16 豊島区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
17 北区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
18 荒川区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
19 板橋区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
20 練馬区	●	—	● ※1 ※1+武蔵野市	●	×	●	●	●	●
21 足立区	●	—	● ※1	● ※4	×	●	●	●	●
22 葛飾区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
23 江戸川区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●

※ 1：2016年4月から、23区内でBCGの相互乗入を開始。これにより、全ての子どもの定期接種は相互乗入が可能に。

※ 2：開始時期はそれぞれ異なるが、2023年10月までに助成がある自治体は「●」とした。

※ 3：2023年8月から、都内で初めて男性へのHPVワクチンの助成を開始（中野区）

※ 4：足立区は2023年4月から、稲城市は2023年10月から「おたふくかぜ」ワクチンの助成を開始

# 【多摩】

区市町村	BCG			おたふく	季節性インフルエンザ	麻しん・風しん (未接種者向け)		帯状疱疹※2	里帰り先での予防接種への償還払い
	個別	集団	相互乗入			第1期 (1歳児)	第2期 (小学校入学前年)		
24 八王子市	●	—	●※5	●	×	●	●	●	●
25 立川市	●	—	×	×	●	×	×	●	●
26 武蔵野市	●	—	● <small>練馬区,三鷹市,小金井市</small>	●	×	●	●	●	●
27 三鷹市	●	—	● <small>世田谷区,武蔵野市,調布市,小金井市</small>	●	×	●	●	●	●
28 青梅市	—	●	×	×	×	×	×	●	●
29 府中市	●	—	● <small>調布市,小金井市,国立市</small>	×	×	●	●	●	●
30 昭島市	●	—	×	●	●	×	×	●(11月~)	●
31 調布市	●	—	● <small>世田谷区,三鷹市,府中市,狛江市</small>	●	×	●	●	●	●
32 町田市	●	—	● <small>※5+相模原市</small>	×	×	●	●	●	●
33 小金井市	●	—	● <small>武蔵野市,三鷹市,府中市</small>	●	●※7	●	×	●	●
34 小平市	▲※9	●	×	×	×	×	×	●	●
35 日野市	—	●	●※5	×	×	●	●	●	●
36 東村山市	—	●	×	×	×	×	×	●(11月~)	●
37 国分寺市	●	—	×	×	●	×	×	●	●
38 国立市	●	—	● <small>府中市</small>	×	●	×	×	●	●
39 福生市	—	●	×	×	×	×	×	●	●
40 狛江市	●	—	● <small>世田谷区,調布市</small>	×	×	×	×	●	●
41 東大和市	●	—	×	×	×	●	●	●	●
42 清瀬市	—	●	×	×	●	×	×	●	●
43 東久留米市	—	●	×	●※8	×	×	×	●(11月~)	●
44 武蔵村山市	●	—	×	×	×	×	×	●	●
45 多摩市	●	—	●※5	×	×	×	×	●	●
46 稲城市	▲※10	●	●※5	●※4	×	×	×	●	●
47 羽村市	—	●	×	×	×	×	×	●	●
48 あきる野市	●	—	×	×	×	×	×	●	×
49 西東京市	—	●	×	●	×	●	●	●	●
50 瑞穂町	—	●	×	●	●	●	●	●	●※11
51 日の出町	●	●	●※6	×	×	×	×	×	●※11
52 檜原村	●	—	×	●	●	×	×	●	●※12
53 奥多摩町	●	—	×	×	●	×	×	●	▲※13

※ 5：南多摩保健医療圏5市で、BCGを含めた子どもの定期接種の相互乗入を実施（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）

※ 6：あきる野市への乗入のみ（日の出町 ⇒ あきる野市）

※ 7：2022年10月からインフルエンザワクチンの助成を開始（小金井市）

※ 8：東久留米市医師会として「おたふくかぜ」の予防接種費用の助成を独自に実施（東久留米市）

※ 9：「集団接種」がメインだが「個別接種」も可能（小平市）

※ 10：原則として、稲城市保健センターで実施する「集団接種」による（稲城市）

※ 11：日の出町は2023年3月から、瑞穂町は2023年4月から、里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払い制度を開始

※ 12：里帰り先で長期に滞在する事情などを考慮のうえ、個々の事例で償還払いを実施（檜原村）

※ 13：単なる里帰り出産による償還払いは行っていないが、治療等の理由から町内での接種が困難な場合には償還払いを実施（奥多摩町）

# 2023年度 MRワクチン未接種者に対する任意助成制度の状況（23区）

東京保険医協会まとめ（2023年9月作成）

※任意接種の助成対象年齢のうち、定期接種対象者は除く。2017・2018年度は以下のような動きがあったが、2019～2022年度に続き**2023年度も大きな変更はなかった。**

- ・2017年度 対象者・補助回数を**拡充**：足立区（最大2回へ）**新設**：板橋区（ただし自己負担あり）
- ・2018年度 **新設**：港区 対象者を**拡充**：中野区

## A) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応し、期間内であれば最大2回まで補助

対象期間中に定期接種と合わせて2回の接種機会を確保する。例えば対象年齢が2歳～18歳の場合、15歳の時点で1度も接種していないことが分かった場合でも2回分の費用は助成が受けられる。

2歳～19歳	中央区、目黒区
2歳～18歳	千代田区、新宿区、港区、台東区、墨田区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、荒川区、練馬区、足立区、葛飾区、
本人負担：なし（いずれも無料）	

## B) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、期間内はそれぞれ1回分の補助

あくまで各期の終了直後をフォローするものであり、小学1年以降に1期接種漏れが発覚した場合は1期漏れ分の助成を受けられない。

①2歳～2期対象前、②小学1年～6年、③中学1年～19歳	文京区
①2歳～2期対象前、②小学1年～6年	杉並区、江戸川区
①2歳～2期対象前、②小学1年～4年	江東区
①2歳～2期対象前、②小学1年のみ	世田谷区
本人負担：なし（いずれも無料）	

※ 文京区は2期接種漏れの者については②か③どちらか1回のみ助成。

## C) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、通算して1回分の補助

対象年齢であればいつ申請しても構わないが、費用は1回分しか出ない。

2歳～18歳（全期間通じて1回）	品川区
本人負担：なし（1回のみ）	

## D) 条件はAと同じ、ただし「自己負担」あり

対象者などの条件は「A」と同じだが、利用希望者は自己負担が発生する。

2歳～18歳	板橋区
本人負担： <u>あり</u> （麻しん・風しん混合ワクチン：1,000円／単体ワクチン：500円）	

## E) 助成制度なし

助成制度なし	なし
--------	----

以上

## 2023年度MRワクチン未接種者に対する任意助成制度の状況（多摩）

東京保険医協会まとめ（2023年9月作成）

※ 任意接種の助成対象年齢のうち、定期接種対象者は除く。

2020～2022年度に続き **2023年度も変更はなかった。**

### A) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応し、期間内であれば最大2回まで補助

対象期間中に定期接種と合わせて2回の接種機会を確保する。例えば対象年齢が2歳～18歳の場合、15歳の時点で1度も接種していないことが分かった場合でも2回分の費用は助成が受けられる。

2歳～18歳（全額）	八王子市、武蔵野市、三鷹市、日野市、町田市
2歳～18歳（一部）	東大和市（1回につき5,000円を上限として助成） 西東京市（1回につき自己負担5,800円）
2歳～小学6年（全額）	府中市
2歳～7歳6カ月未満（全額）	調布市

### B) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、いずれか1回分の補助のみ

2歳～18歳（一部）	瑞穂町（5,000円を助成）
------------	----------------

### C) 1期漏れのみを対象とする／2期漏れは対応しない

1期終了～2期接種期間前の子どもを対象とし、2期漏れは対象にならない。

2歳～2期対象前（全額）	小金井市
--------------	------

### D) 助成制度なし

助成制度なし	立川市、青梅市、昭島市、小平市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町
--------	---

以上

# 大人の風しん抗体検査費用及び予防接種費用調査

東京保険医協会・地域医療部調べ（2023年9月作成）

※抗体検査の助成対象者のうち、抗体価が低い者が予防接種の助成対象。

※「○」は都基準に準ずる。

	抗体検査		予防接種		対象者
	検査対象	検査費用	接種対象	接種費用	
千代田区	独自	無料	独自	無料	○+30～50歳代の男性。
中央区	○	無料	○	無料	
港区	独自	無料	独自	無料	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
新宿区	独自	無料	独自	自己負担額 MR：5,210円、風しん単独：3,140円	○+妊娠を予定または希望する女性の配偶者またはパートナー（別居）+妊婦の配偶者またはパートナー（別居）。
文京区	○	無料	○	無料	
台東区	○	無料	○	無料	
墨田区	○	無料	○	無料	
江東区	独自	無料	独自	無料	妊娠を予定または希望する女性（19歳～49歳）およびその同居者（19歳以上）。 風しん抗体価の低い妊婦の同居者（19歳以上）。
品川区	○	無料	○	無料	
目黒区	独自	無料	独自	無料	妊娠を予定または希望する女性およびその同居者。妊婦の同居者（いずれも19歳～59歳）。
大田区	○	無料	○	無料	
世田谷区	独自	無料	独自	助成額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
渋谷区	○	無料	○	無料	
中野区	独自	無料	独自	無料	○+30～50歳代の男性。
杉並区	独自	無料	独自	19歳以上49歳までの妊娠希望女性：無料 同居者：自己負担あり MR：5,000円、風しん単独：3,000円	妊娠を希望する女性（19歳～49歳）およびその同居者（19歳以上）。抗体価の低い妊婦の同居者（19歳以上）。
豊島区	独自	無料	独自	無料	妊娠を希望する女性およびそのパートナーまたは同居者。妊婦のパートナーまたは同居者（いずれも19歳～69歳）
北区	独自	無料	独自	無料	都基準対象者のうち、昭和37年（1962年）4月2日から平成12年（2000年）4月1日生まれの方。
荒川区	独自	無料	独自	無料	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
板橋区	独自	無料	独自	無料	妊娠を希望する女性（19歳～49歳）およびそのパートナー（19歳以上）。 妊婦の同居者またはパートナー（19歳以上）。
練馬区	○	無料	○	無料	
足立区	独自	無料	独自	自己負担額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	19歳以上の男女。
葛飾区	独自	無料	独自	無料	19歳以上の男女。
江戸川区	○	無料	○	無料	

八王子市	○	無料	○	無料	
立川市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風しん単独：3,500円	
武蔵野市	○	無料	○	自己負担額：4,000円	
三鷹市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風しん単独：1,745円	
青梅市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
府中市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
昭島市	○	無料	○	無料	
調布市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風しん単独：3,000円	
町田市	○	無料	○	無料	
小金井市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
小平市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
日野市	○	無料	○	無料	
東村山市	○	無料	○	自己負担額 MR：1,040円、風しん単独：680円	
国分寺市	○	無料	○	無料	
国立市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風しん単独：3,000円	
福生市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
狛江市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風しん単独：3,000円	
東大和市	○	無料	○	無料	
清瀬市	○	無料	○	自己負担額 1,000円	
東久留米市	○	無料	○	自己負担額 MR：1,300円、風しん単独：750円	
武蔵村山市	○	無料	○	妊娠を予定または希望する女性：全額助成 同居者：自己負担あり MR：4,500円、風しん単独：3,000円	
多摩市	○	無料	○	無料	
稲城市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風しん単独：3,000円	
羽村市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
あきる野市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
西東京市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,800円、風しん単独：4,000円	
瑞穂町	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風しん単独：3,000円	
日の出町	○	無料	○	無料	
檜原村	○	無料	○	無料	
奥多摩町	○	無料	○	無料	

※「○」は都基準に準ずる。都基準の対象は以下の通り。

- ・風しん抗体検査  
都内に住所を有する19歳以上で、以下に該当し、風しん抗体検査を希望する者  
  - (1) 妊娠を予定又は希望している女性
  - (2) 妊婦の同居者
  - (3) (1)の同居者
- ※ 国が行う緊急風しん抗体検査等事業の対象者等を除く。

- ・予防接種対象  
19歳以上で、以下のいずれかに該当する者  
  - (1) 妊娠を予定又は希望している女性
  - (2) 妊婦の同居者
  - (3) (1)の同居者
ただし、検査で接種が必要と認められる者に限る。  
(風しん第5期定期予防接種の対象者はそちらが優先)

## ■ おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

東京保険医協会・地域医療部（2023年9月作成）

2023年度は、足立区（4月～）・稲城市（10月～）が助成開始

台東区（8月～）・葛飾区（10月～）が助成回数を2回に拡充

	対象者（児）	助成金額	助成回数
1	千代田区 1歳～小学校就学前	全額助成	2回
2	中央区 1歳～小学校就学前（1回目） ----- 小学校就学前年度（2回目）	4,000円助成／回	2回
3	新宿区 1歳～小学校就学前	自己負担3,000円（※1）	1回
4	文京区 1歳～小学校就学前	3,000円助成	1回
5	台東区 1歳～小学校就学前	3,500円助成	2回
6	品川区 1歳～小学校就学前	3,000円助成	2回
7	目黒区 1歳～4歳未満	3,000円助成（※1）	1回
8	渋谷区 1歳～4歳未満	全額助成	1回
9	中野区 1歳～小学校就学前	4,000円助成	2回
10	杉並区 1歳～小学校就学前	4,000円助成	1回
11	豊島区 1歳～3歳未満	全額助成	1回
12	北区 1歳～小学校就学前	3,500円助成（※1）	1回
13	荒川区 1歳～小学校就学前	3,500円助成（※1）	1回
14	板橋区 1歳～2歳未満	3,000円助成	1回
15	練馬区 1歳～3歳未満	3,000円助成（※1）	1回
16	足立区 1歳～2歳未満	4,000円助成	1回
17	葛飾区 1歳～2歳未満（1回目） ----- 小学校就学前年度（2回目）	全額助成	2回
18	江戸川区 1歳～小学校就学前	3,000円助成（※1）	2回
19	八王子市 1歳～2歳未満（1回目） ----- 小学校就学前年度（2回目）	全額助成	2回
20	武蔵野市 1歳～小学校就学前	自己負担2,500円（※1）	1回
21	三鷹市 1歳～2歳未満	自己負担3,000円（※1）	1回
22	昭島市 1歳～3歳未満	自己負担3,000円（※1）	1回
23	調布市 1歳～2歳未満	自己負担3,000円（※1）	1回
24	小金井市 1歳～2歳未満	自己負担3,500円（※1）	1回
25	東久留米市（※2） 1歳～2歳未満	自己負担2,000円	1回
26	稲城市 1歳～小学校就学前（1回目） ----- 小学校就学前年度（2回目）	3,000円助成	2回
27	西東京市 1歳～2歳未満	自己負担3,100円（※1）	1回
28	瑞穂町 1歳～6歳未満	3,000円助成	1回
29	檜原村 1歳～7歳未満	全額助成	1回

※1：生活保護受給世帯等の子どもは無料

※2：東久留米市医師会が助成を実施

※ 東京都では2007年度から、区市町村が独自に任意接種の助成を行う場合に、「1歳から就学前までの児」を対象に経費の1/2を補助している。



## ■ 季節性インフルエンザ

東京保険医協会・地域医療部（2023年9月作成）

2022年度は、目黒区・荒川区・小金井市が助成開始（10月～）

2023年度は、文京区が助成額を2,000円→全額に、葛飾区が助成額を1,000円→2,000円に拡充

中野区が助成対象を小学生まで→中学生までに拡充

清瀬市が助成対象を中学生まで→高校生相当までに拡充

	対象者（児）	助成金額	助成回数
1	千代田区	生後6か月～13歳未満	全額助成
		13歳～高校3年生相当	
2	港区	生後6か月～13歳未満	3,000円助成 / 回
		13歳～高校3年生相当	
3	新宿区	13歳未満	自己負担1,700円 / 回 (生活保護受給世帯等は無料)
		13歳～65歳未満の生活保護受給世帯等	
4	文京区	生後6か月～13歳未満	全額助成
		13歳～中学3年生	
5	台東区	生後6か月～13歳未満	2,300円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
6	品川区	1歳～13歳未満	1,000円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
7	目黒区	生後6か月～13歳未満	1,000円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
8	大田区	1歳～13歳未満	1,000円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
9	世田谷区	1歳～13歳未満	1,000円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
10	渋谷区	1歳～13歳未満	全額助成
		13歳～中学3年生	
11	中野区	生後6か月～ <b>中学3年生</b>	1,000円助成 / 回
12	荒川区	生後6か月～小学校就学前(※1)	2,000円助成 / 回
13	葛飾区	生後6か月～13歳未満	2,000円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
14	立川市	生後6か月～小学校6年生	1,500円助成 / 回
15	昭島市	13歳未満	自己負担1,500円 / 回 (生活保護受給世帯等は無料)
		13歳～高校3年生相当	
16	小金井市	生後6か月～13歳未満	1,000円助成 / 回
		13歳～中学3年生	
17	国分寺市	生後6か月～小学校3年生	1,000円助成 / 回
18	国立市	生後6か月～小学校就学前	1,000円助成 / 回
19	清瀬市	生後6か月～13歳未満	1,700円助成 / 回
		13歳～ <b>高校3年生相当</b>	
20	瑞穂町	1歳～小学校就学前	1,000円助成 / 回
21	檜原村	乳幼児～高校3年生相当	全額助成
		生活保護受給世帯の方(年齢に関わらず) 「上記」および「高齢者インフルエンザ (定期接種)の対象者」以外の村民	
22	奥多摩町	生後6か月～高校3年生相当	2,000円助成 / 回

※1：障害や慢性疾病等を持つ児童が対象（荒川区）

※2：助成回数は年齢により異なる。例えば、3～13歳未満の児については2回接種が必要なので2回分を全額助成（檜原村）

## 带状疱疹ワクチン助成状況（23区）

※東京都は2023年4月から、带状疱疹ワクチン助成自治体に助成額の1/2を補助している。

※どの自治体も対象年齢は50歳以上（生活保護受給者等についても同様）

区市町村	開始日	生保等	助成額	
			生ワクチン	不活化ワクチン
千代田区	2023年6月 ※1		4,500円×1回	11,000円×2回
		○	9,000円×1回	22,000円×2回
中央区	2023年4月		4,000円×1回	10,000円×2回
港区	2023年1月		6,500円×1回	15,000円×2回
		○	8,800円×1回	22,000円×2回
新宿区	2023年4月		自己負担4,000円×1回	自己負担10,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
文京区 ※2	2019年10月		5,000円×1回	10,000円×2回
台東区	2023年8月		4,000円×1回	11,000円×2回
墨田区	2023年9月		4,000円×1回	10,000円×2回
江東区	2023年4月		4,000円×1回	10,000円×2回
		○	8,000円×1回	22,000円×2回
品川区	2023年7月		5,000円×1回	10,000円×2回
目黒区	2023年4月		5,000円×1回	10,000円×2回
大田区	2023年7月		5,000円×1回	10,000円×2回
世田谷区	2023年7月		4,000円×1回	10,000円×2回
渋谷区	2023年4月		4,000円×1回	10,000円×2回
中野区	2023年3月		4,000円×1回	10,000円×2回
杉並区	2023年4月		5,000円×1回	10,000円×2回
豊島区	2023年6月		5,000円×1回	11,000円×2回
北区	2023年4月		5,000円×1回	11,000円×2回
		○	8,500円×1回	22,000円×2回
荒川区	2023年4月		4,000円×1回	11,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
板橋区	2023年7月		4,000円×1回	10,000円×2回
練馬区	2023年4月		4,000円×1回	11,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
足立区	2023年8月		5,000円×1回	10,000円×2回
葛飾区	2023年10月		4,000円×1回	10,000円×2回
江戸川区	2023年9月 ※1		5,000円×1回	10,000円×2回

※1：2023年4月以降接種分については償還払いによる助成を実施（千代田区、江戸川区）

※2：2023年4月から対象年齢・助成額を大幅拡大（文京区）

## 帯状疱疹ワクチン助成状況（多摩地域）

※東京都は2023年4月から、帯状疱疹ワクチン助成自治体に助成額の1/2を補助している。  
 ※どの自治体も対象年齢は50歳以上（生活保護受給者等についても同様）

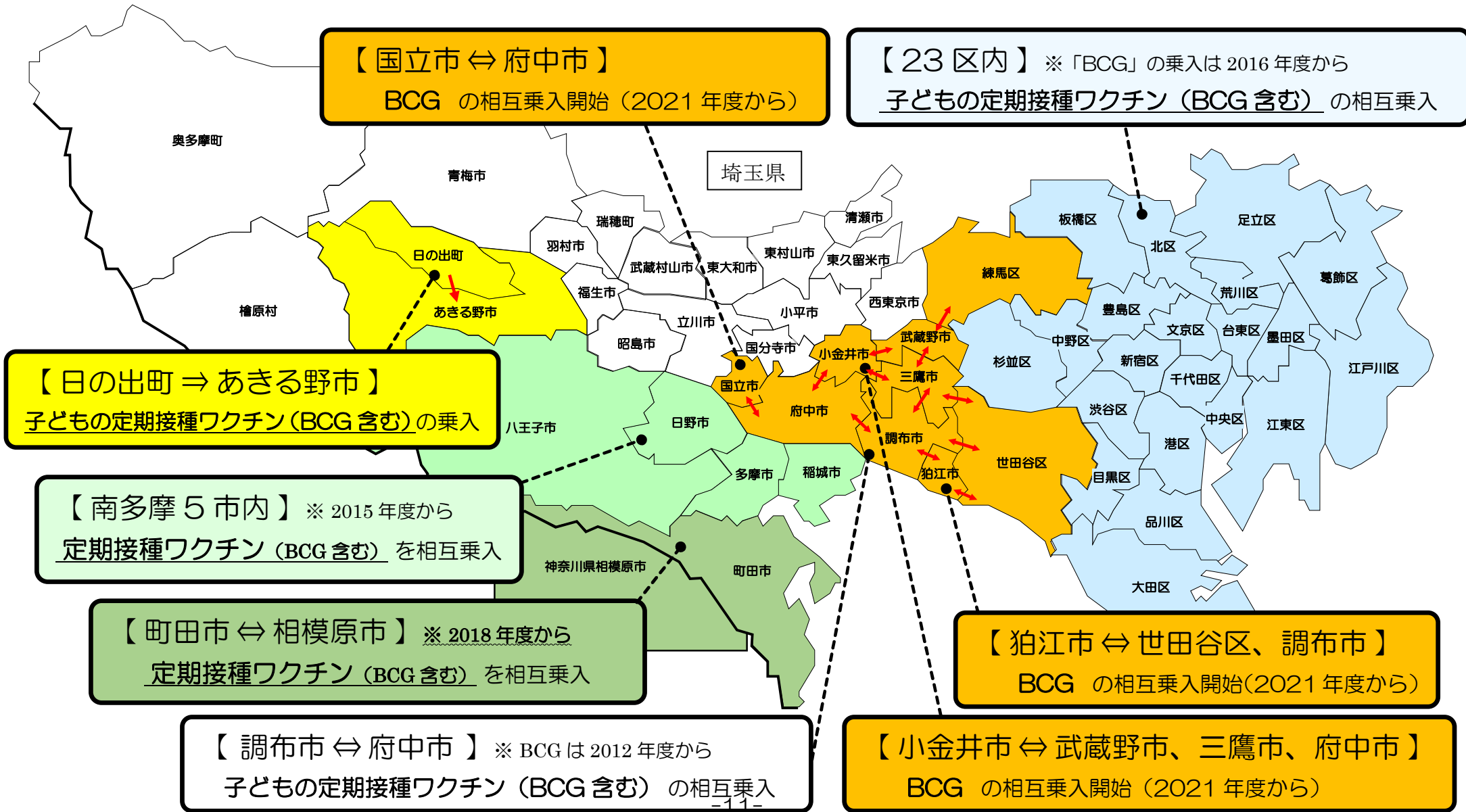
区市町村	開始日	生保等	助成額	
			生ワクチン	不活化ワクチン
八王子市	2023年8月 ※3		自己負担4,000円×1回	自己負担11,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
立川市	2023年9月		5,000円×1回	10,000円×2回
		○	10,000円×1回	20,000円×2回
武蔵野市	2023年7月		5,000円×1回	11000円×2回
		○	10,000円×1回	20,000円×2回
三鷹市	2023年6月		4,000円×1回	10,000円×2回
		○	10,000円×1回	20,000円×2回
青梅市	2023年10月		4,000円×1回	10,000円×2回
府中市	2023年10月		4,000円×1回	12,000円×2回
昭島市	2023年11月		5,000円×1回	11000円×2回
		○	10,000円×1回	20,000円×2回
調布市	2023年7月		4,000円×1回	10,000円×2回
町田市	2023年7月		5,000円×1回	10,000円×2回
小金井市	2023年7月		4,000円×1回	10,000円×2回
小平市	2023年8月		4,000円×1回	10,000円×2回
日野市	2023年8月		5,000円×1回	10,000円×2回
東村山市	2023年11月		4,000円×1回	10,000円×2回
国分寺市	2023年6月		5,000円×1回	10,000円×2回
		○	9,000円×1回	23,000円×2回
国立市	2023年6月		5,000円×1回	10,000円×2回
		○	8,000円×1回	20,000円×2回
福生市	2023年10月 ※3		4,000円×1回	10,000円×2回
狛江市	2023年5月		—	8,000円×2回
東大和市	2023年4月		3,000円×1回	5,000円×2回
清瀬市	2023年4月		3,500円×1回	9,000円×2回
東久留米市	2023年11月 ※3		4,000円×1回	10,000円×2回
武蔵村山市	2023年4月		自己負担4,000円×1回	自己負担11,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
多摩市	2023年8月		5,180円×1回	10,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
稲城市	2023年10月		4,000円×1回	10,000円×2回
羽村市	2023年10月		4,000円×1回	10,000円×2回
あきる野市	2023年10月 ※3		5,000円×1回	10,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
西東京市	2023年8月 ※3		5,000円×1回	10,000円×2回
		○	全額助成	全額助成
瑞穂町	2023年7月 ※3		6,000円×1回	10,000円×2回
日の出町	—		—	—
檜原村	2022年4月		全額助成	全額助成 ※4
奥多摩町	2023年10月 ※3		5,000円×1回	10,000円×2回

※3：2023年4月以降接種分については償還払いによる助成を実施  
 （八王子市、福生市、東久留米市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、奥多摩町）

※4：不活化ワクチンの助成は2023年6月から（檜原村）

## ■ 2023年度 都内区市町村における「BCG」の相互乗入状況 (2021年度から変更なし)

子どもの定期接種のうち、「BCG」については2012年度から「調布市 ⇄ 府中市」間で、2015年度からは「南多摩5市」の域内で、さらに2016年度からは「23区」の域内で相互乗入が行われている。2018年度から「世田谷区 ⇄ 調布市」間、「練馬区 ⇄ 武蔵野市」間、2019年度から「世田谷区 ⇄ 三鷹市」、2021年度からは「世田谷区 ⇄ 狛江市」で区部と多摩部をまたいだ相互乗入が行われているほか、2018年度から町田市と神奈川県相模原市との間で都県をまたいだ相互乗入が行われている。



## ■ 東京都の「子ども医療費」(通院・入院)助成制度(2023年度)

	マル乳(義務教育就学前)				マル子(義務教育就学児)				マル青(高校生等)			
	対象年齢	所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢	所得制限	通院時自己負担	入院時食事	対象年齢	所得制限	通院時自己負担	入院時食事
東京都	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	あり※1	200円※2	—	18歳年度末	あり※1	200円※2	—

※1：東京都から区市町村への補助対象となる「所得制限額」は、児童手当法の所得制限と同額。

【参考】児童手当法の所得制限限度額(カッコ内は収入額の目安)

※ 一律控除の8万円を除いた金額で、4人目以降は省略(計算方法は38万円加算/人)

扶養人数： 0人=622万円(833.3万円) / 1人=660万円(875.6万円) / 2人=698万円(917.8万円) / 3人=736万円(960万円)

※2：自己負担は「通院1回につき200円」であるが、通院に伴う「調剤」のほか、「入院分」については全額助成となる

## ■ 23区の「子ども医療費」(通院・入院)助成制度の概要(2023年度)

	マル乳(就学前)				マル子(小・中学生)				マル青(高校生等)				
	対象年齢	所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢	所得制限	通院時自己負担	入院時食事	対象年齢	所得制限	通院時自己負担	入院時食事	
1	千代田区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
2	中央区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
3	港区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
4	新宿区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
5	文京区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
6	台東区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
7	墨田区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
8	江東区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
9	品川区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
10	目黒区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
11	大田区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
12	世田谷区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
13	渋谷区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
14	中野区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
15	杉並区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
16	豊島区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
17	北区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
18	荒川区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
19	板橋区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
20	練馬区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2
21	足立区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
22	葛飾区	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
23	江戸川区	6歳年度末	—	—	●※2	15歳年度末	—	—	●※2	18歳年度末	—	—	●※2

※1：2023年4月に東京都全域で高校生等医療費助成制度が創設された。23区は所得制限なし・自己負担なし。

※2：入院時食事療養費は、いったん自己負担分を支払った後、領収書等とともに申請することで“償還払い”を受けることができる(中央区、港区、新宿区、台東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、豊島区、練馬区、江戸川区の12区)。

## ■ 多摩地域の「子ども医療費」(通院・入院)助成制度の概要(2023年度)

	マル乳(就学前)				マル子(小・中学生)				マル青(高校生等)				
	対象年齢	所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢	所得制限	通院時自己負担	入院時食事	対象年齢	所得制限	通院時自己負担	入院時食事	
24	八王子市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
25	立川市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	▲※5	200円 ※5	—	18歳年度末	▲※5	200円 ※5	—
26	武蔵野市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
27	三鷹市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	—	200円	—
28	青梅市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
29	府中市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
30	昭島市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	あり※3	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
31	調布市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—※6	—※6	—	18歳年度末	—	—	—
32	町田市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
33	小金井市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	▲※8	200円	—	18歳年度末	▲※8	200円	—
34	小平市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	▲※7	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
35	日野市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	▲※9	—	—	18歳年度末	▲※9	200円 ※9	—
36	東村山市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	あり※3	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
37	国分寺市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	—	200円	—
38	国立市	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	—※10	200円	●※4	18歳年度末	—	200円	●※4
39	福生市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	—	200円	—
40	狛江市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	▲※7	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
41	東大和市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	あり※3	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
42	清瀬市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	あり※3	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
43	東久留米市	6歳年度末	—	—	▲※4	15歳年度末	あり※3	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
44	武蔵村山市	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	あり※3	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
45	多摩市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	—	200円	—
46	稲城市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	▲※8	200円	—	18歳年度末	▲※8	200円	—
47	羽村市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	あり※3	200円	—
48	あきる野市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—※6	—※6	—	18歳年度末	—	—	—
49	西東京市	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円	—	18歳年度末	—	200円	—
50	瑞穂町	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	200円 ※11	—	18歳年度末	—	200円	—
51	日の出町	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
52	檜原村	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—
53	奥多摩町	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	—	—	—	18歳年度末	—	—	—

※3：所得制限については、児童手当法にもとづく「東京都基準」と同じ。

※4：入院時食事療養費は、いったん自己負担分を支払った後、領収書等とともに申請することで“償還払い”を受けることができる。  
(国立市、東久留米市、武蔵村山市は「0歳児」、武蔵村山市は「マル乳」に限る)

※5：立川市は2023年10月から、マル子・マル青の自己負担(200円)・所得制限を撤廃。

※6：調布市・あきる野市は2023年4月から、マル子の自己負担(200円)・所得制限を撤廃。

※7：小平市2023年4月から、小学校3年生までの所得制限を撤廃。狛江市は2022年10月から、小学校卒業までの所得制限を撤廃。

※8：小金井市は2023年10月から、稲城市は2024年4月(予定)から、マル子・マル青の所得制限を撤廃。

※9：日野市は、2023年10月から、マル子の所得制限、マル青の自己負担(200円)・所得制限を撤廃。

※10：国立市は2023年4月から、マル子の所得制限を撤廃。

※11：瑞穂町は、2023年10月から、マル子の自己負担(200円)を撤廃。